

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2010
春

3月1日発行(季刊)



いよいよ今年は瀬戸内国際芸術祭が始まる。準備から本番まで陰で支えるボランティアスタッフ「こえび隊」の活動も本格的に始まった。
この日は作品の舞台となる女木島の古民家を頭からホコリまみれで掃除。
あなたも是非参加してみませんか？

受け継がれ、極められた伝統の技・リレートーク
遊にあらず 芸にあらず…内田繁茶の湯展
3月から5月までの茶華道・イベント情報を掲載
イベントの参加募集と講座のお知らせ

65

発行・財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

受け継がれ、極められた伝統の技 ＝次代に伝えていく香川の伝統的工芸品＝

新たに四名を香川県伝統工芸士として認定

古くから海上交通の要衝として開けた香川県には、豊かな風土の中で育まれ、人々の手から手へと受け継がれてきた工芸品が数多くあります。

県では、これらの工芸品の製造に長年にわたり携われ、特に優れた技術と人格を兼ね備えた方を毎年「香川県伝統工芸士」として認定しております。

今年度も新たに四名の方を、伝統工芸士に認定し、平成22年2月23日に県庁で伝統工芸士認定式を行いました。



新たに伝統工芸士に認定されたのは、宮本太郎さん、松本悦子さん、三好正行さん、村川健一さんの四名で、香川県が指定する伝統的工芸品である「讃岐鋳造品（さぬきちゅうぞうひん）」、「保多織（ほたおり）」、「讃岐提灯（さぬきちょうちん）」、「庵治産地石製品」、それぞれの分野で長年に渡り素晴らしい技術を磨いてこられました。

今回、工芸士の認定を受けた四名の方が、どのように今日まで歩まれたのか、また、どのような工芸品をお作りになつておられるかを、お聞きしました。

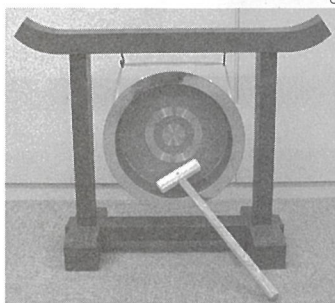
讃岐の文化を支える思い



宮本太郎さん

銅鑄物は、太古の昔より在り、なかでも銅鏡や銅鐸は、神仏の祭礼などで使われる楽器の一部に用いられてきました。現在、伝統芸能の雅楽や寺院の梵鐘などに見られます。

また、獅子鉦は讃岐の秋祭りなどの獅子舞には欠かせません。これまで、この様な伝統的



■獅子鉦

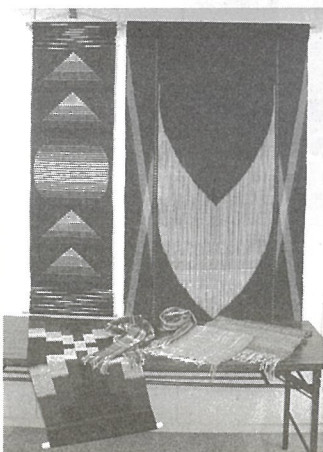
工芸品の製造に携わつてこれたことを誇りに思います。これからも、お客様のニーズに答られるよう、さらに研鑽に励むとともに、後継者育成にも努め、香川に根付いた伝統文化や工芸品を長く伝えてまいりたいと思います。

保多織を織り続けて



松本悦子さん

この度は大変大きな認定をいただき、有難く存じております。三十年ほど前に保多織を知りました。保多織は讃岐の古くからの織物です。凸凹のある布地にはシャリ感があり、暖かい風合いが喜ばれています。それまで、草木染、藍染めの着尺を織つておりましたが、保多織の面白さに惹かれて、今日までお仕事をさせて頂きました。最近では着尺だけではなく服地、インテリア物、ストールなども織っております。伝統工芸を時代の流れの中で活かし、手仕事の味わいをお伝えして、残して生きたいと思っています。



■タピストリー

柔らかな灯りをともし和風美



三好正行さん

提灯に張る和紙の原料は楮で、繊維の長さは五ミリから十ミリ（洋紙はミリ以下）と長く、繊維密度も低く隙間が多いため、光が繊維の隙間を通る時に乱反射するので、提灯の明かりは目に柔らかく感じられます。

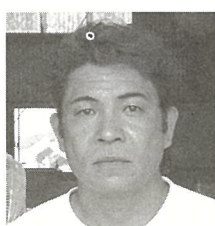
提灯は、木の型枠に竹ヒゴを巻き、その上に和紙を張り、多様な模様と色を重ね合わせ、彩り鮮やかな世界を作り上げていきます。



■讃岐提灯（上げ幕）

四国八十八ヶ所への奉納提灯として発した讃岐提灯の二「讃岐一本掛け提灯」は、こうした絵付けと三重構造の変形提灯として作成しています。

庵治石でつなぐ魂と伝統の技



村川健一さん

日々「カッチン、カッチン」とノミや石頭

(セツトウ)を使って、庵治石の特徴を生かしたお地藏さんや七福神などの仏像彫刻を制作しています。先輩方からみっちり仕込まれた伝統の石彫技術と「人一倍いい物を作ろう」という強い気持ちとそして、丁寧な仕事を常に心がけております。この度、県から伝統工芸士の認定をいただきます身の引き締まる思いです。これを機に、さらに技術を磨きをかけるとともに、この技術を次の世代に残していくために後継者育成にも力を入れていきたいと思っています。



■ 布袋さんとふくろう

県伝統的工芸品の指定制度

さぬきの風土と暮らしの中ではぐくまれ、受け継がれてきた工芸品の普及と製造者の意欲の高揚を図るために、昭和六十年代に香川県伝統的工芸品の指定制度を設け、①主に日常生活に用いられるもので、②製造工程の主要部分が手工業的であり、③伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、④伝統的な技術・技法により製造されているものという要件のもと、現在「香川漆器」や「丸亀うちわ」など三十七品目の工芸品を県の伝統的工芸品として指定しています。

《香川県の伝統的工芸品(三十七品目)》

香川漆器、讃岐桶樽、欄間彫刻、組手障子、肥松木工品、志度桐下駄、讃岐二刀彫、桐箱、長火鉢、菓子木型、讃岐提灯、

高松和傘、一閑張／一貫張、丸亀うちわ、香川竹細工、竹二刀彫、古式畳、神懸焼、岡本焼、讃岐装飾瓦、豊島石灯籠、庵治産地石製品、鷲ノ山石工品、打出し銅器、左官鋳、讃岐鍛冶製品、讃岐鋳造品、保多織、讃岐のり染、讃岐獅子頭、手描き鯉のぼり、金糸銀糸装飾刺繍、節句人形、高松張子、高松嫁入人形、張子虎、讃岐かがり手まり

県伝統工芸士の認定制度

伝統的技術の維持向上と習得意欲の高揚を図り、後継者の確保と次代への継承を促進するために、平成六年度に伝統工芸士認定制度を創設し、①高度な伝統的技術を有し、②実務経験年数が二十年以上で、現在もその製造に直接従事しており、③工芸品の振興に係る事業等の推進に貢献しており、④伝統工芸士にふさわしい高潔な人格を有する方を、「香川県伝統工芸士」に認定しております。平成二十一年度の四名を加え、現在百十七名の方を香川県伝統工芸士として認定しています。

県では、香川の伝統的工芸品や伝統工芸士とふれあっていただけける機会の一つとして、「香川の伝統的工芸品展」を三越高松店において毎年十一月に開催しております。

県指定の伝統的工芸品であることを示す表示マーク。



香川県伝統的工芸品

リレートーク



高松市文化財保護協会
理事 妹尾 共子

季節・時は春

「春は花夏ほととぎす秋は月
冬雪さえてすずしかりけり」

川端康成がノーベル文学賞の受賞記念講演「美しい日本の私」の冒頭に引用した道元禅師の和歌は、春夏秋冬を象徴する花鳥や雪月花を三十二文字に並べただけのように見えながら、端的な言葉で日本の美しい四季を語りついている。

讃岐路の春・弥生三月、日うらうら。「春は名のみの風の寒さや…」と早春賦に歌われる今日この頃、阿讃山脈では冬を耐えた落葉樹の枯れ枝に二斉の芽ぶきが始まり、稜線がずいぶんとやわらかくなってきた。一雨ごとにふくらはみを増し、春の光がまぶしく散る水面はぬるみ、色をなくしていた冬枯れの讃岐路に、春告げの花が一斉に咲き始める。まさに、春は花…。オオイヌノフグリは空の色を映して鮮やかなブルーの小花をまき散らし、フキノトウは薄紫の表皮の下に若草色を幾重にも合掌して芽ぶく。そして、これから、スミレ、タネボポ、レンゲ草、それから、木蓮、花蘇芳、桜…。野も山もさまざまな花を咲かせて、春は色を重ねて深まっていく。

ところがこの季節、全く逆に、まさに

名のみの春を思い知らされるような日が交る。昔から、讃岐の古老は「冬はさぶない、風さぶい」と寒さの体感基準を冷たい風だと表現してきた。先だつての極寒の頃には「風にミが入りましたなあ。お氣いつけなさんせ」が挨拶言葉であつたが、その冬の寒さが舞い戻つて来たような気候に身を縮ませたりさせられる。寒の戻りである。

「ふはふはと うどん煮ゆるや もどりぞむ」

湯気の向うに期待の春が霞み、これからの日々、高気圧と低気圧が交互する三寒四温をくりかえし、春は行きつ戻りつしながら本番を迎える。

普段の生活の中に当たり前のようになつた季節感が、現代社会の便利で多忙、かつ、個性的になつた衣食住環境によつて薄まりつつあると危惧されて久しい。しかし、財団の「茶の湯」行事を通じて、花を愛で月にも思う細やかな感性で演出された美しい日本の四季が脈々と息づいている茶の世界を垣間見る機会を得るようになって、その都度、その奥深さに驚き、安堵のような懐かしみを覚えながら楽しませてもらっている。

時は春。雪間の草の春が過ぎ、やがて百花繚乱、爛漫の春を迎える。茶の湯の世界では日を重ねるごとの春をさまざまに演出する。亭主の心遣いと客の感謝が交互しながらすすむ二期一会の茶会で、「美しい日本の私」さながらのひとときの春を二緒に如何ですか。

遊にあらざる 芸にあらざる……………

内田繁茶の湯展

茶の湯はもつと進化しても良いんじゃないか?というご提案から、インテリアデザイナー内田繁氏がデザインされた茶室「受庵、想庵、行庵」。この三つの茶室と立礼卓を舞台に、年末年始にかけて日替わり連続茶会が繰広げられました。中村谷プロデュースのギャラリーショップ「スーベニア」は丸亀町番町西館二階。もともと期間限定の営業で、残念ながら本誌の発刊と入れ違いに終了となりましたが、二世を風靡した「スーベニア茶会」は同展のユニークな企画として記録にとどめておくべき茶会となりました。

茶の湯のこれからを模索して作られた内田氏デザインの茶室での茶会は、終わってみれば、まさに実験的な二日間でした。毎日、茶席が終わつてからの撤収と翌日の準備は思いのほか大変でしたが、予想以上の成果を実感出来るものとなりました。

一席五名までの茶席が、一日最大十一席。お客様には濃茶席、薄茶席、点心席の三席を巡る形式を基本に、流派も趣向も料理も毎日が違う組み合わせでの実施となりました。当初はいろいろと戸惑いもありましたが、実際に始めてみるとお客様はもちろんのこと、席を担当して下さったご亭主の皆様が本当に楽しみながらお席をされていたのが印象に残りました。

亭主側には茶席の経験豊富な先生方ばかりでなく、建築家やラジオパーソナリティ、美術家、陶芸家、菓子木型職人、大工棟梁といったそれぞれに話の材料を

たくさんお持ちの皆様にもお引き受け頂きました。



茶の湯は亭主が用意したお道具などをきつかけに会話を楽しむというのがひとつの楽しみです。亭主はもてなしの趣向を考えて、そのテーマに因んだ道具を選んだり探したりしながら茶席を構成して行きます。花やお菓子も道具のひとつとして吟味します。亭主に取っては自己表現の場というか、一種のインスタレーション。お客様の興味は人によつていろいろです。何処に引かれて話が弾んで行くのかは茶席を始めてみないとわかりませんが、とにかくお客様ごとに違う展開が生

まれて行きます。それこそが二期一会の妙なる世界です。

また、狭い茶席の中では不思議と始めて会った客同士でも直ぐに打ち解けることができます。そこが大寄せとは大きく違うところ。それぞれの興味が亭主の想像を超えて、さらに面白く会話が発展していくと、準備の苦勞も報われると言うものです。

スーベニアでの茶会はより多くの人に茶の湯を楽しんで欲しいという試みにもなりました。期間中の参加者は約千人。茶の湯の可能性の大きさを改めて感じました。

今回こうしたお茶席が実現出来たのは、内田氏の組み立て式のユニークな茶室を展示しながら、お道具も含めて使用させて頂けたことは最大の好運でした。

街中の非日常の空間。木枠と竹と言つたシンプルな素材。面積的には畳三畳程の正方形の移動式の茶室。踊り口と茶道



財団法人 行事予定

(三月～五月)

三月

◆小豆島八十八ヶ所霊場巡拝

三月三日(水)

◆和菓子講座 高橋初乃先生

三月五日(金)午前十時～十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

三月十六日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆茶の湯よもやま話 伏見章先生

※最終ページを参照下さい。

三月二十三日(火)午後二時三十分～

◆ヤングヤング子供茶の湯講座

今回のみ第一・第四土曜日

山下純子・古市千秋先生

三月六日(土) 午後三時～

二十七日(土) 午後二時～

四月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

四月六日(火)午前十二時～午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

四月九日(金)午前十時～十二時

◆小豆島八十八ヶ所霊場巡拝

四月十三日(火)～十四日(水)

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

四月二十日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

茶事

京都円山公園にある蘇鐵庵 水守清隆氏

東風吹かば…その1

豊浜に「梅が枝」なるお菓子があると聞いて、事前にネットで調べてみました。

太宰府のお土産、梅が枝餅の情報が画面を埋め尽くす。菅原道真が太宰府に左遷された時に軟禁状態で、食事のままならなかった折に、見かねた老婆が梅の枝に餅を刺して高所の窓から差し入れたというのが由来らしい。焼き餅風で、2コを重ね、その間に餡を塗っていただくのが本来の食べ方だそう。

しかし豊浜の「梅が枝」は焼き餅ではないらしい。京都の生八つ橋に似た薄く柔らかい煎餅を、幾層にも重ねたものらしい。じゃあ飛び梅伝説で京都から飛んでいった梅の花びらが豊浜の地に舞い降りたのか？ そんなロマンを抱きながら車を西に走らせた。

ご主人に「梅が枝」の由来を聞く。江戸時代に四国巡礼の名僧を助け、そのお礼に教わったのが始まりらしいが、名前の由来は分からない……続く



くにももの (4)

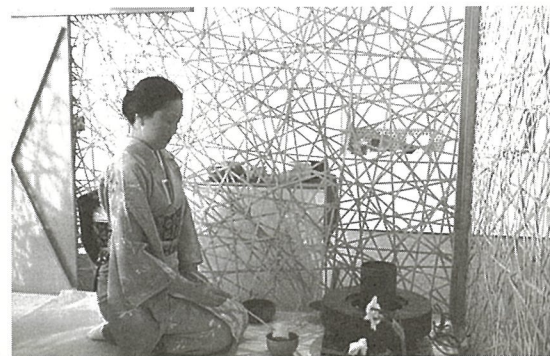
「牡丹・花の寺」



平安時代の政治家であり、和歌に堪能な文章博士として有名な菅原道真は、国司として四年の讃岐滞在がありました。とはいえ、鄙さがる地方への転出。赴任にあたっての心残りは、都に残した家族のこと、歌仲間と楽しんだ日々との断絶、それから、蕾のふくらみかけた庭の牡丹の花……。当時、都では空海が中国より請来した牡丹の花が百花の王と愛でられ、貴族の間で大流行していました。

ところが、はるかな波路を隔てた讃岐の法華寺(国分寺町)の境内で、薄雲のたなびきを思わせ、降り敷く小雪に見まがうばかりに咲く清浄な花に、心をなぐさめられた感激を五言律詩に残しています。深見草、名取草などと優雅な名前を幾つも持つ空海ゆかり花を空海誕生の地で詠んだ漢詩にちなんで天神さんの梅のイメージにもうひとつ加えて、讃岐ならではの白牡丹の道真が語り継がれています。

口。竹をいろいろに編んだ、まるで鳥かごのような素通しの壁。通常の茶室とは違う空間だからこそできることもありました。



亭主の皆さんがそれぞれに挑戦して、楽しんで下さったこと。茶事に近い茶席が実現出来たこと。これも普段実際には、二席五名までの茶席を何席もする機会というのは滅多にありません。また、寿司や天ぷら、懐石はいうにおよばず、イタリア料理、フランス料理、中華料理。さらには介護用のセレブ料理など、満足の厨房も無い場所がなんぼつて下さった料理方とのコラボも大きな楽しみの要素となりました。コストなど考えるとおそらく東京では実現するのは難しい実験でした。高松という場所の特異性もあると思いますが、参加して下さった皆様にとっても素晴らしい体験をして頂けたのではないかと密かに喜んでおりますが、いかがでしょうか。またこうした茶会が出来ることを期待しながら、ご協力頂いた皆様と場所を提携して下さった「中村谷」様に感謝申し上げます。

同展茶会実行委員会事務局

が今回は、「炉の名残り」をテーマに正午と夕ざりの茶事をしてくださることにになりましたのでご案内致します。お誘い合のうえに参加下さい。

日時 四月二十四日(土)～二十六日(月)の三日間

正午の茶事 各日 午前十時三十分～

夕ざりの茶事 二十四・二十五日

午後四時三十分～

席主 表千家流 蘇鐵庵 水守清隆

会費 二万円(各定員十名)

◆茶の湯もやま話 伏見章先生

四月二十七日(火)午後二時三十分～

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子・古市千秋先生

四月十日(土)・二十四日(土) 午後時～

五月

◆和菓子講座 高橋初乃先生

五月十四日(金)午前十時～十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

五月十八日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆小豆島八十八ヶ所霊場巡拝

五月十九日(水)～二十日(木)

◆茶の湯もやま話 伏見章先生

五月二十五日(火)午後二時三十分～

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子・古市千秋先生

五月八日(土)・二十二日(土) 午後時～

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要。お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一十二

☎(087) 8269・3355

茶 華 道 ガ イ ド

池坊高松支部 ☎(087)889-2785

3/11~16 第9回いけばな展と茶会 席主:池坊高松支部
高松天満屋 500円 10:00~18:00

一茶流久松会 中村一鐘 ☎(087)885-2322

3/11~16 第9回春季いけばな展と茶会 主催:高松市茶華道協会
高松天満屋 茶席500円・花展400円(前売)
10:00~17:00

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)865-3249

3/14 市茶華道協会 春季いけばな展と茶会
席主:川崎恵雪 天満屋 500円 10:00~17:00

表千家同門会香川県支部 ☎(0875)83-3785

3/7 茶の湯文化市民講座「千家十職袋師土田友湖」
席主:表千家同門会香川県支部
高松市生涯学習センター 無料(要整理券)
13:00~15:00

3/15 茶会といけばな展 席主:表千家同門会香川県支部
天満屋 500円 10:00~16:30

4/11 栗林公園月釜 席主:平田宗経
掬月亭 500円(入園料別) 9:00~15:00

5/9 東讃四季茶会 席主:西谷宗冬
中條文化振興財団 500円 9:00~15:00

華道一生流葵会 ☎(087)821-4347

5/30 葵会茶会・一生流いけばな 席主:官休庵・有志
新田町本覚寺本院 500円 9:00~15:30

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

3/28 月釜・松尾寺 席主:宮武宗隆
松尾寺 500円 9:00~15:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

3/7 月釜・坂出分会 席主:B班
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

3/28 月釜・善琴分会 席主:豊泉会
樟蔭軒 500円 9:00~15:00

3/28 月釜・善琴分会 席主:宮武宗隆

松尾寺 500円 9:00~15:00

4/29 瀬戸大橋展望茶会 席主:坂出A班

瀬戸大橋記念公園 300円 10:00~15:00

4/29 月釜・多度津分会 席主:石川宗雅

多度津町立資料館 400円 13:00~15:00

5/2 月釜・坂出分会 席主:片岡宗初・永森宗代・行成宗英

翠松閣 500円 10:00~14:00

5/4 丸亀お城まつり 席主:河野宗静

生涯学習センター 500円 9:30~15:00

3/14 淡交会香川支部利休忌 席主:善琴分会の担当

紅梅亭 2,000円 10:00~15:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)834-8433

3/7 月釜 席主:岡宗久 天神会館

前売500円・当日600円 9:00~16:00

3/16 天満屋花展・茶会 席主:浦辺宗艶

500円 10:00~17:00

4/4 月釜(氏家宗豊先生を偲ぶ会)

席主:横倉宗翠 天神会館

前売500円・当日600円 9:00~16:00

5/2 月釜 席主:神内宗康 天神会館

前売500円・当日600円 9:00~16:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)889-1973

3/13 いけばな展と茶会(主催:高松市茶華道協会)

席主:藤本美玉 天満屋7階 500円

10:00~17:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

3/12 第9回春季いけばな展と茶会

席主:石州流讃岐清水派石州会和敬会

高松天満屋7階 500円 10:00~17:00

3/21 玉椿象合忌茶会 席主:松岡宗愛

玉藻公園披雲閣 900円 9:00~15:30

4/18 創立73周年記念茶会 席主:白川宗美、和敬会有志

玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00

4/29 きりしま茶会 席主:三晃会

屋島神社 500円 9:00~15:00

石州流宗家 ☎(087)882-2858

5/3、4 春の祭フラワーフェスティバル 野点

席主:久保宗照 中央公園 350円

10:00~15:00

5/5 玉藻公園子供の日無料開放 野点

席主:久保宗照 玉藻公園 350円

10:00~15:00

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

3/7 香川官休会月釜 席主:溝淵保子

無量寿院 500円 9:00~15:00

3/11 天満屋春季いけばな茶会 席主:在松会

天満屋 500円 10:00~17:00

3/20 象谷茶会 席主:在松会

披雲閣 1,000円 9:00~16:00

5/2 香川官休会月釜 席主:在松会

無量寿院 500円 9:00~15:00

官休庵流 佐々木妙博社中 ☎(087)847-8234

6/6 初茶会 席主:高橋・杉森 500円

中條文化振興財団 9:00~15:00

お茶のかをり園 ☎(087)821-5957

3/24~28 古今茶の湯総合展 恒例となりました新古茶道具

五百余点を一同に展示即売致します

(特価コーナー設置) 福善寺2階 10:00~

ジョージナカシマ記念館 ☎(087)870-1020

3/28 ジョージナカシマ記念館第二回茶会~花と民芸~

(事前予約制) 1,500円 10:00~15:50

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<第2研修室>

4/11 由佐城月釜茶会 席主:溝内宗玲(裏千家)

10:00~15:00 前売300円・当日400円

5/9 由佐城月釜茶会 席主:上里宗美(石州流宗家高松会)

10:00~15:00 前売300円・当日400円

上記予定は変更する場合があります。

イ ベ ン ト ガ イ ド

かまどホール ☎(0877)46-2178

2/27~3/22 観行 手描友禅

溝淵美悠紀展「心聴」 10:00~●

3/27~4/18 和田邦坊展 10:00~●

4/24~5/16 井尾建二 金工展 10:00~●

5/22~6/13 谷育子 染色展 10:00~●

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

3/14 チャイルド・ミュージックコンサート 9:30~■

3/21 せせらぎ会 Music Concert 9:15~■

4/25 第45回多度津芸能音楽祭 12:00~■

土庄町文化協会 ☎(0879)62-7013

3/7 第27回土庄町芸能まつり

土庄町立中央公民館 12:30~■

丸亀市教育委員会教育部文化課 ☎(0877)24-8822

3/21 MIMOCAゲートプラザde雑貨店

デザイン&アートをテーマにした雑貨、ファ

ッション、アクセサリーなどオリジナル作品

に限定したアートマーケット。ミニライブ、

オープンカフェも開催。雨天決行

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ

10:30~■

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877) 24-7755

3/6 オープンスタジオ 美術館で遊ぼう

2階造形スタジオ 10:00~■

3/7、21 「Focus3:高嶺格スーパーキャパシターズ展」

キュレーターズ・トーク 1階受付前集合

14:00~(展覧会チケット要)■

3/14、28 「猪熊弦一郎展 色いろいろ」

キュレーターズ・トーク 1階受付前集合

14:00~(展覧会チケット要)■

丸亀市総合文化会館(アレックス) ☎(0877)86-6800

3/23 中村美津子コンサート2010

大ホール 14:00~、18:30~●

3/13 新沢としひこ・増田ゆう子コンサート

小ホール 18:00~●

4/4 都美弥会おどろめ(日本舞踊発表会)

大ホール 18:00~●

4/18 全国吟詠コンクール香川県予選大会

大ホール 9:30~■

4/25 第13回大正琴の集い(大正琴発表会)

大ホール 12:00~■

4/25 第3回コーロ・デル・クオーレ定期演奏会

児童合唱団定期演奏会

小ホール 14:00~■

丸亀市民会館 ☎(0877) 23-4141

<大ホール>

3/27 丸亀高等学校吹奏楽部第28回定期演奏会

18:00~■

3/28 丸亀市少年少女合唱団第8回定期演奏会

14:00~●

5/2 丸亀お城まつり(日本の太鼓まつり)

18:00~★

5/3、4 丸亀お城まつり(雨天時のイベント)

時間未定■

あーとらんど ギャラリー ☎(0877)24-0927

2/25~3/9 永岡かずみ展 半地下ギャラリー 10:00~■

3/14~28 金明植展 1Fギャラリー 10:00~■

4/4~18 高橋草展 1Fギャラリー 10:00~■

4/24~5/23 つなぐ〜ひととところとき〜画廊の仕事30年~

1Fギャラリー 10:00~■

ぎやらりい風 ☎(0877)86-2112

2/16~3/28 「選抜作品展」

水澤正信洋画展出品作品から選抜 10:00~■

4/8~18 焼縮展と紡ぐ言葉展(陶芸、詩、短歌)

香川葉子・井原香織 10:00~■

4/20~25 写真展スローライフ「いつまでも」

斉藤智晴 10:00~■

4/27~5/9 三村則子展 10:00~■

5/18~23 やきもん展 築山窯 篠原拓生 10:00~■

灸まん美術館 ☎(0877) 75-3000

3/6~9 あかね保育園園児作品展 9:00~■

3/12~16 貞廣豊・裕子 二人展 9:00~■

3/19~23 第25回讃岐木楽会「建具われら職人展」

9:00~■

3/26~30 藤田直毅 陶展 9:00~■

4/2~6 和の心展 写真・短歌コラボレーション

9:00~■

4/9~13 水の器2010 青瓷 平岡朋美展 9:00~■

4/16~20 真鍋茂明展 9:00~■

4/23~27 堀家照子押花展 9:00~■

4/30~5/5 長尾千鶴 書作展 9:00~■

5/7~11 田井将博ガラス展 9:00~■

5/14~25 たなかあつし 木のものがたり展 9:00~■

5/28~6/1 土洋会作品展 9:00~■

善通寺市教育委員会 ☎(0877)63-6328

5/5 獅子舞の公開

善通寺市讃岐宮(例大祭会場) 10:00~■

わが家ギャラリー木きん堂 ☎(0875)63-1763

3/9~27 こんどうみちよ&ハニーデップちゃんの

Japanese折り紙展~ I Love you~

(折り紙等の展示) 9:40~■

3/30~4/3 ララ・はあと(和こものの展示・販売)

9:40~■

4/20~5/1 岡田稔展(書道やおじょうさんの絵)

9:40~■

イベントガイド

アルファあなぶきホール ☎(087)823-3131

- 3/25 小山実稚恵 ポーランドの香り
〜ショパン生誕200周年を記念して〜
出演:小山実稚恵(ピアノ)他 小ホール
19:00〜●
- 5/4、5 ディズニー・ライブ!
ミッキーとハッピーバースデー くまのプーさん
大ホール 4日13:30〜、16:30〜●
5日11:00〜、14:00〜、17:00〜●

香川県立ミュージアム ☎(087)822-0002

- 1/22〜4/4 静かなる調べ〜香川ゆかりの院展作家たち(企画展)
9:00〜●
- 2/4〜3/7 仏の美〜仏教美術コレクションから(企画展)
9:00〜●
- 2/17〜4/18 近世の瀬戸内海を往来した人と船(企画展)
9:00〜●
- 2/26〜4/18 吉祥一めでたさの表現(企画展) 9:00〜●
- 高松市美術館 ☎(087)823-1711**
- 2/20〜3/28 コレクション+「プラス」メタモルフォーゼ!!!!変身アート
9:30〜●
- 4/16〜5/30 カンヴァスに描かれた魅惑的な女性たち
9:30〜●
- 7/17〜9/5 森村泰昌 モリエナーレ「まねが美術史」(仮称)
9:30〜●

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

- 2/16〜3/22 菊池寛記念館 '10コレクション展
「菊池寛作品のヒロインたち」
主な展示資料:自筆原稿、芥川賞・直木賞受
賞作家の色紙等 研究閲覧室 9:00〜●
- <菊池寛記念館文芸講座・サンクリスタル高松3階>
3/6 「良寛の漢詩と和歌」
講師:和田浩 第1集会室 13:30〜●
- 3/13 朗読劇 菊池寛劇場
演出:「蘭学事始」(二番丁校区子ども会児童)、
「青の洞門」紙芝居、「羽衣」朗読他
視聴覚ホール 13:30〜●

高松市生涯学習センター ☎(087)811-6222

- ふるさとの魅力を語る講座 大研修室 13:30〜●
- 3/17 高松市の中世山城
講師:松田英治(中世山城研究家)
方言はふるさとの旗じるし
講師:藤村雅範(元小学校校長)
栗林地区の歴史探訪
講師:谷本博(栗林地区老人クラブ連合会長)

高松オリーブホール ☎(087)861-0467

- 3/14 「9mm Parabellum Bullet」 18:30〜●
- 3/22 「SANUKI Rock COLDSSEUM」 12:30〜●
- 4/6 「シド」 19:00〜●
- 4/17 「柳ジョージ」 18:00〜●

玉藻公園 ☎(087) 851-1521

- 3/6 マイシアターまつり 披雲閣
- 3/17 コンサート ギタリスト吉井延隆「お城でビートルズ」
披雲閣●
- 3/20〜21 香川の漆器まつり 披雲閣
- 4/1〜11 桜見物夜間無料開放 桜の馬場
- 4/18 石州会創立記念茶会 披雲閣
- 5/5 玉藻公園一般開放記念・無料開放
披雲閣・桜の馬場●
- 5/5 開園55周年記念「祝55周年高松城に大集合」
上方舞・クイズラリー・写真コンテスト
披雲閣・桜の馬場●
- 5/30 かまど茶会 披雲閣

ミューズホール ☎(087)833-0013・0014

- 3/20 第14回ミューズホール春の音楽祭 13:00〜●
- 4/18 第7回ダンスカンパニーウィズ公演
コンテンポラリーDANCE&ART縄文
第1部「今日常〜」第2部「古〜縄文への扉〜」
15:30〜●

高松市教育委員会文化財課 ☎(087)839-2660

- 3/14 ふるさと探訪「土井宮から浄願寺山麓を歩く」
(観興寺、観賢堂、釈迦堂、坂田庵寺跡、
祥福寺、片山池霊跡などを巡る予定)
9:30〜●
- 3/19 源平合戦826年「佐藤継信」墓前祭・四国
へんろの父「真念法師」墓前祭と講演会
継信墓地公園10:00〜、洲崎寺10:30〜

- 3/20、21 第59回日本泳法研究会
20日 水任流研究発表講義
アルファあなぶきホール(小ホール) 14:00〜●
- 21日 水任流実技発表
香川県立総合水泳プール 9:00〜●
- 4/25、5/23 ふるさと探訪(内容未定) 9:30〜●

(財)高松市文化芸術財団(サンポートホール高松) ☎(087)825-5010

- <サンポートホール高松主催事業>
- 5/3 坂東玉三郎が語る「海神別荘」朗読と
音楽で綴る言の葉コンサート
大ホール 15:00〜●
- 5/5 こどもの日のこどものためのコンサート
第2小ホール 14:00〜●

高松天満屋美術画廊 ☎(087)812-7548

- 3/3〜9 第9回横山尚人ガラスデコール展
10:00〜●
- 3/10〜16 第27回日本伝統漆芸展 10:00〜●
- 3/24〜30 作陶50周年記念 備前 山本雄一展
10:00〜●
- 4/7〜13 織田達也 作陶展 10:00〜●
- 4/21〜27 日本絵画一伝統からの創造 日本の美展
10:00〜●
- 4/28〜5/4 陶芸秀作展 10:00〜●

お茶のかをり園 ☎(087)821-5957

- 3/24〜28 古今茶湯総合展 恒例となりました新古茶道具
五百余点を一同に展示即売致します
(特価コーナー設置) 福善寺2階 10:00〜●

四季ギャラリー ☎(087)822-9010

- 4/1〜30 彩会絵画展 9:00〜●
- 5/1〜31 グループステップ第35回絵画展 9:00〜●

ヨнденスラザ高松 ☎(087)851-3863

- 3/2〜7 「第13回古高松絵画同好会作品展」
古高松絵画同好会会員20数名による水
彩画・はがき絵25点の展示 10:00〜●
- 3/18〜21 「NHK文化センター高松デッサン講座展」
NHK文化センター高松のデッサン講座生40名に
よる絵画約40点の展示 10:00〜●
- 3/23〜28 「ニコールクラブ高松支部写真展」
ニコールクラブ高松支部会員による写
真パネル約25点の展示 10:00〜●
- 3/30〜4/4 「同好会炎の華作陶展」炎の華同好会
会員約30名による陶芸作品約100点の展示
10:00〜●
- 4/13〜18 「ミニチュア・ドールハウス」デミタスクラ
ブとトリファンを生徒達によるミニチュア・
クラフト・ドールハウスの作品展示
10:00〜●
- 4/20〜25 「木彫展」木彫志生会会員50名による木
彫約100点の展示 10:00〜●
- 5/11〜16 「まんでがん讃岐の土作陶展」弦打陶芸
道場会員約15名による陶芸作品約150
点の展示 10:00〜●
- 5/18〜23 「青洗書会展」青洗書会会員10名による
漢字、近代詩文などの書作品約20点の展示
10:00〜●
- 5/25〜30 「水彩画展」水彩画グループあすなろの
会員21名による水彩画の展示 10:00〜●

桜ショップ ☎(087)831-8866

- 3/9〜14 「Genta グラス展」
コップ、小鉢を中心にした鈴木玄太氏の
ガラスの器展 10:00〜●

ジョージナカシマ記念館 ☎(087)870-1020

- 3/28 ジョージナカシマ記念館第二回茶会〜花
と民芸〜(事前予約制)
10:00〜15:50 1,500円

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

- 2/23〜3/21 企画展「第9回 郷土の文化 拓本展」
2F市民ギャラリー 9:00〜●
- 3/16〜22 写真と油絵 親子展
1Fロビー 9:00〜●
- 4/10〜5/23 企画展「第5回 城山まつり」
2F市民ギャラリー 9:00〜●

<第2研修室>

- 4/11 由佐城月釜茶会
席主:清内宗玲(裏千家)
10:00〜15:00 前売300円・当日400円
- 5/9 由佐城月釜茶会

席主:上里宗美(石州流宗家高松会)
10:00〜15:00 前売300円・当日400円

高松市塩江美術館 ☎(087)893-1800

- <常設展>
- 1/16〜4/23 平成21年度第3期 熊野俊一・小林正六展
常設展示室 9:00〜●
- 4/24〜9/10 平成22年度第1期 熊野俊一・小林正六展
常設展示室 9:00〜●

<企画展>

- 2/16〜3/7 讃岐名所探訪展 企画展示室 9:00〜●
- 3/9〜28 塩江アートプロジェクト 絵描鬼 柳生忠平展
企画展示室・ホール 9:00〜●
- 3/30〜4/18 中川沙綾香展 Passage パサージュ
企画展示室・ホール 9:00〜●

<ワークショップ>

- 3/13 一日陶芸教室 テーマ「子供の日」(先着20名)
講師:陶芸家 貴志勉 陶芸館 10:00〜●
- 3/22 風づくりワークショップ「空に浮かぶ妖怪たち」
(小中学生先着20名、親子参加可)
講師:画家 柳生忠平 陶芸館 10:00〜●

高松市石の民俗資料館 ☎(087)845-8484

- 3/27〜4/11 さぬき石物語 〜豊島石とその周辺〜
企画展示室 9:00〜●
- 4/1〜18 さぬき石物語関連事業 〜本島残石展〜
エントランスホール 9:00〜●
- 3/27、28 椿展 エントランスホール 9:00〜●
- 4/15〜25 めばえ展 企画展示室 9:00〜●
- 4/29〜5/30 (仮称)大島よしふみ動く彫刻展
企画展示室 9:00〜●
- 5/15 吉見佳晃テノールリサイタル
エントランスホール 18:30〜●

ストーンミュージアム ☎(087)871-2200

- 5/1〜6/30 石の彫刻展2010 9:00〜●

東かがわ市ニューツーリズム協会 ☎(0879)23-8557

- 2/27〜3/3 第8回引田ひなまつり 引田のまち並み約70軒にひ
な人形を展示。アトラクション、ライトアップ
JR引田駅より町並み一帯
10:00〜(ライトアップ2/27、3/2日没より20:30まで) ●
(一部有料)
- 3/11〜4/4 明治・大正・昭和・ちいさな町のカメラ小僧 昭和30年
頃の引田のまち並みや行事などを撮影した写真展
井筒屋敷母屋 10:00〜●
- 3/14 カブクワやまと相撲大会 井筒屋敷与之蔵
10:00〜●

- 4/10〜25 能面展 in 讃州井筒屋敷
80歳の能面師小原朗氏の能面の展示
母屋 10:00〜●
- 4/29〜5/5 讃州井筒屋敷 端午の節句イベント
山野草展、子供茶会、紙飛行機選手権などのアトラクション
井筒屋敷

とらまるバベットランド ☎(0879)25-0055

- 3/3〜7 「だるまちゃんとてんぐちゃん」「こぶたがずんずん」
人形劇団あつけらん♪
3〜5日10:30〜、6〜7日13:30〜●
- 3/10〜14、4/11、25、5/26〜30
「飛びだしたあばれ馬」「どんでんたぬきがえし」
とらまる人形劇団
3/10〜12、5/26〜28日10:30〜、その他13:30〜●
- 3/20〜22、24〜28 人形劇ミュージアム開館7周年記念行事
<春休みとらまるバベットフェスタ2010>
とらまる座13:30〜、ミュージアム10:00〜●
- 4/4、18、5/7〜9 「風の神のいたずら」とらまる人形劇団
7日10:30〜、その他13:30〜●
- 4/29 「ぬればやまのちいさなにんじや」他
人形芝居くりちゃん 13:30〜●
- 5/1〜5 <ゴールデンウィークイベント>
「まゆとおに」「エンコラホイホイさるじぞう」
人形劇団むすび座 13:30〜●
- 5/12〜16 「ふしぎの森のヤーヤー」「おばあさんとア
ヒルのガーガー」人形劇団えりっこ
12〜14日10:30〜、15〜16日13:30〜●
- 5/19〜23 「なんまいのおれ?」人形劇団ばんび
19〜21日10:30〜、22〜23日13:30〜●

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 3/14 勸清会 日舞発表会 13:00〜●
- 5/23 劇団カッパ座坂出公演 14:00〜●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

上記予定は変更する場合もあります。

「文化通心」第66号は6月1日発行です。次の期間(6月1日から9月末日)の情報を5月10日までにお知らせ下さい。

☎(087)826-2212

■イベントの参加募集と講座のお知らせ

中條文化振興財団

高松市市民文化祭
アーツフェスタたかまつ 2010
6月13日(日)

■ヤングヤング子供大茶会

今年で三回目となりました「子供たち

による子供たちのお茶会」。各流派でお稽古を重ねている子供たちが日頃の成果を披露してくれるお茶席と、和菓子職人の方々に教えていただく和菓子作り体験講座(子供限定)があります。

前回の和菓子作り体験講座では茶巾絞りの練きり菓子「あじさい」を作りました。職人の方々に教えてもらいながら一生懸命に作った「あじさい」には、一つとして同じものがなく、二人一人の個性が溢れる素敵なお菓子となりました。

その自分で作ったお菓子を持参してお茶席に移りお茶を頂きます。

お点前やお運びをしている子供たちは、普段と違った表情をみせ、心の温まるお席となりました。

今回も、多くの子供たちに体験し、以後も興味を持ち続けてもらえるように企画をしております。



つきましては、

- ① お茶会や和菓子体験のお手伝い。
- ② お点前で参加の子供たちと先生。(少人数でも可)

を広く募集致しますのでこの機会に参加協力願います。

会場 サンポートホール高松1階

市民ギャラリー及び

コミュニケーションプラザ

時間 午前10時から午後3時まで

ご参加下さる方は3月20日までに財団にご連絡下さい。

主催 高松市、主管 同実行委員会

■ヤングヤング

(子供茶の湯講座)

お茶に興味をもっている子供たち。一度ぜひ見学にいらして下さい。季節の行事や礼儀作法。良かつたら二緒にお稽古なさいませんか?ご希望の方は財団までご連絡下さい。保護者の方の付き添いは自由です。

講師 山下純子・古市千秋先生

日時 毎月第2・4土曜日

午後1時〜5時まで

場所 当財団茶室 晴松亭

月謝 三千元

■茶の湯もやま話

床・茶碗・台子等々、茶の湯の多岐にわたるお話の他に、本年より茶道文化検定で実際に課題された試験問題の解説・予習・復習を行っています。

お話の合間に、お茶と季節の和菓子を頂きながらの楽しい講座です。興味のあ

る方は是非この機会にお申込み下さい。

講師 恕庵文庫 伏見章先生

日時 毎月第4火曜日 午後1時30分より

場所 当財団茶室 晴松亭 立礼席(椅子席)

受講料 友の会千五百円・一般二千元

友の会「晴友会」

更新手続きについて

「晴友会」の皆様には日頃大変お世話になりありがとうございます。

さて、今年も4月の更新時期が参りました。引き続き更新を希望して頂ける方は、同封の郵便振替用紙にてお振込をお頼み致します。昨年12月以降にご入会頂いた方は、次年度分として承りましたので更新の手続きは必要ありません。

今年も大茶会を始め、研修旅行などさらに充実して参りたいと思います。皆様のご意見・協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

期間 平成22年4月1日から

平成23年3月31日まで

年会費 三千元

編集後記

景気低迷のあおりで、様々な分野に影響が出ているとの報道がされている。実業団等の運動部の廃部や、新たな運動選手の採用や育成をしないと、伝統文化の行事が続行できなくなる恐れなどである。しかも、まだ少し余力のある企業や行政などは、同じ助成なら、より効果のある大きなもの(こと)を選ぼうとする。他力本願の活動は「危うさ」をとまなうということを自覚しなければいけない。

大・小ではなく、自力で身の丈にあった活動を続けている組織は「強い」と思う。そんな団体が増え、県下のさまざまな分野での活動が元気になるように、支援、助成、振興を願うものです。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二

(財)中條文化振興財団編集部

TEL (087) 8266・3355

FAX (087) 8266・2212

info@chujo-zaidan.or.jp